

# 1 河川洪水ハザードマップで水害リスクを確認しましょう。

- ① 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内(色が塗られている場所)にあるか確認しましょう。
- ② 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内にある時は、凡例の<浸水深の目安>と見比べて、浸水深を確認しましょう。  
※ さらに詳しく調べるには、国土交通省の「地点別浸水シミュレーション」を参照
- ③ 避難所の場所、浸水時の車両乗り入れ可否等を確認し、浸水想定区域外の親戚宅、知人宅を含めた避難場所の候補を決めましょう。
- ④ 避難場所への移動経路・移動手段を決めて、移動にかかる時間を確認しましょう。
- ⑤ 確認した結果をもとに、「避難行動判定フロー」、「マイ・タイムライン」を作成して災害に備えましょう。

※ 下記の例はいわき市役所を自宅(勤務場所)とした場合の例です。

